

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

vol. 23
Aug. 2020



表紙写真：パキスタンの祭り

JDS ウズベキスタン帰国留学生が経済発展・貧困削減省副大臣に就任しました

- ❖ 国際大学、修了式をライブ配信
- ❖ JDS カンボジア留学生が「日本で活躍するカンボジア人」として紹介されました
- ❖ 旅する料理：“スガオムレア“（カンボジア料理）

JDS

The Project for
Human Resource Development
Scholarship by Japanese Grant Aid



JDS ウズベキスタン帰国留学生が 経済発展・貧困削減省副大臣に就任しました！



Mr. Bobur Abdinazarov

ウズベキスタン
経済発展・貧困削減省 副大臣

2020年3月、JDS 帰国留学生である Bobur Abdinazarov 氏（国際大学大学院国際経営学研究科 MBA プログラム/ 2016 年修了）が経済発展・貧困削減省副大臣に就任しました。副大臣としては異例の 36 歳という若さでの抜擢となりました。

同氏は財務省でのチーフ・エコノミスト、会計方法論部門の次長、関税政策局および国营企業改革局の局長を歴任し、局長時代には関税政策の改革を行いました。そのキャリアの半ばで JDS 留学生として 2014 年に来日し、国際大学で MBA プログラムを修了しました。

ウズベキスタンでは 2020 年 3 月に経済発展省が経済開発・貧困削減省として改編されました。同国の Shavkat Mirziyoyev 大統領は世界銀行や国連開発計画 (UNDP) など国際機関の協力を得てウズベキスタン初の「貧困削減プログラム」の作成を主張していることから、財務省出身の Abdinazarov 氏の手腕発揮に国民の期待も高まっています。日本で学んだことを存分に生かしてウズベキスタンの行政をけん引する Abdinazarov 氏の今後の活躍が楽しみです。

～本人からのメッセージ～

JDS 留学生として日本に留学し、IUJ で学んだからこそ今の私がある、と断言できます。在学中は Hyunkoo Lee 先生から財務諸表の分析を、加瀬公夫先生、若山俊弘先生から経営学を学びました。日本で先生方から学んだことの全てが、現在の職務においても大いに役立っています。

国際大学、修了式をライブ配信

去る6月25日(木)、2020年度国際大学修了式が小出郷文化会館(新潟県魚沼市)にて行われました。現在、同学ではJDS留学生104名が学んでいますが、今年はずっと異なるスタイルで修了式が開催されました。出席者は修了生、学長、教職員に限定され、参加できない方は国際大学 YouTube 公式チャンネル”TubeIUJ”によるライブ配信を通して、その様子を見ることになりました。

式典の冒頭で、伊丹敬之学長は「今日は皆さんの国際大学(IUJ)での長い学業の旅に終わりを告げる日であるばかりか、新型コロナウイルスの発生により様々な制約を強いられつつも誰ひとりキャンパスで感染者を出すことなく、春学期を無事に終えることができたことを祝う日でもあります」と述べられました。



←祝辞を述べる伊丹学長
(国際大学公式ウェブサイトより)



ソーシャルディスタンスを考慮した座席配置
(国際大学公式ウェブサイトより)

JDS カンボジア留学生が 日本で活躍するカンボジア人として紹介されました！



カンボジア人の後輩と昭和記念公園にて
(Phal Nyvearaさんは右から2番目)

カンボジアに関する web メディア「NyoNyum」にて、JDS カンボジア留学生の Phal Nyveara さん(コンポンチャナン州都事務所/明治大学専門職大学院ガバナンス研究科/2018 年来日)の日本での生活の様子が紹介されました。

Nyveara さんは、日本の住みやすさに大変満足しており、日本人に対してシャイという印象を持ちつつも、同学の日本人ともよく交流しているようです。母国の学生に対しては「自分の知識と世界観、自国への愛国心を広めるために、是非とも日本留学をしてください」と話しています。

※写真および文章の一部は下記 web サイトより引用しています。

https://nyonyum.net/ja/report_from_japan_2/

SINCE 1999



Where
Leaders
are made.



JDS The Project for
Human Resource Development
Scholarship by Japanese Grant Aid



具材のうまみ溶け込むスープの優しい味わい

スガオムレア(苦瓜の肉詰めスープ) from カンボジア



ビタミン C たっぶりの苦瓜(ゴーヤ)は夏バテにぴったりの食材です。日本ではお馴染みのチャンプルーやサラダが定番ですが、今回は冷房で冷え切った体を温める美味しいスープのレシピをカンボジア在住経験のある JICE スタッフが紹介します!

レシピ(3人分)

1. ゴーヤ(1.5本)を食べやすい大きさにカットし、中のわたをくりぬく。たっぷりのお湯に塩(適量)を加えて、カットしたゴーヤを5分ほどゆでる。
2. ゴーヤに詰める餡を作る。水で戻した春雨(1/2カップ)、干しエビ(大さじ1)、ニンニク(ひとかけ)をそれぞれみじん切りにする。ナンプラー(小さじ1)、鶏がらスープ粉末(小さじ1)、砂糖(小さじ2/3)、塩胡椒(少々)、片栗粉(小さじ2)、豚挽き肉(300g)を全てボウルに入れ、混ぜ合わせる。
3. 水700cc、干しエビ(大さじ1)、鶏がらスープ粉末(小さじ1)、砂糖(小さじ1/2)、ナンプラー(小さじ1)、塩(適量)でスープを作る
4. 1で用意したゴーヤに2の餡を詰めこみ、3のスープで15分ほどゆでる。
5. お皿に盛りつけて完成!



白いごはんにもよく合います!

今月の表紙 ~Khanpur Festival 2020 (ハイバル・パフトウンハー州/パキスタン)~



乾いた空気と澄み渡る青空のもと、エネルギーに満ち溢れた踊り手たちが沿道の観客を沸かせる。ここはパキスタン北部の街、ハーンプル。会場の出店には名産品の甘くてみずみずしいブラッドオレンジや、心を込めて作られた色とりどりの手工芸品が所狭し、と並べられている。このエリアはパキスタンの中でも風光明媚な場所であるにもかかわらず、治安の悪さが観光客を遠ざけてきた。しかし、近年の治安改善により、今では州全体をあげて観光客の誘致に乗り出している。この祭りが開催された2月上旬、その後の世界が新種のウイルスに翻弄されることになるとは誰が想像しただろうか。一日も早くこの不安定な状況が収束し、写真のように誰もがマスクをせずに思い切り笑い合える日々が再び戻ってきますように。

JDS 3つの特徴

1 行政官限定事業

※一部例外がございます

2 4,662名^{*1}16カ国^{*2}の実績

*1 事業終了国の人数も含む *2 現在の事業実施国数

3 大臣・局長級を輩出

対象国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得します。

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<事業実施対象国> ※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身につけ帰国した留学生は、日本との政策対話に携わる等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画(JDS)は無償資金協力によるJICA留学生受入支援事業です。

Editor's Note

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

依然としてコロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、私たちの生活でも徐々に「新しい日常(ニューノーマル)」が定着し始めているように感じます。本来ならば、8月はJDS留学生の一斉来日という大きなイベントがあるのですが、今年は査証発給手続きの関係により来日が遅れることになりました。母国でオリエンテーションやオンライン授業を受けながら出発を心待ちにしている留学生たちに会うことができる日は少し先になりそうですが、それまでの間、離れていても彼らを全力でサポートしたいと思います。

JDS 事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.PR@jice.org